



西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

《 学 校 教 育 目 標 》

～夢がわき 心もはずむ 西小の子～

- ・素直で心豊かな子
- ・進んでくり返し学習する子
- ・ねばり強くたくましい子

「想定外」を想定して ～ 災害から身を守るための備え ～

校長 石田 成夫

この夏は、記録的な暑さとなった昨年を更に上回る暑さとなり、8月の下旬になっても、毎日のように熱中症警戒アラートや暑さ指数「危険」が発令されました。日本気象協会の統計によりますと、35℃以上の猛暑日を観測した累積地点数は、昨年をすでに上回っているようで、暑さのためか、校庭に遊びに来る子どもの姿も例年以上に少なかったように思います。

気象に関わるころでは、8月12日に台風5号が岩手県に上陸し、記録的な降水量で東北地方の各地に大きな被害をもたらしました。この台風は、東北地方の太平洋側から上陸して日本海側に抜けるという歴史的にも大変珍しいコースをとりましたが、このようなコースを進んだ台風は、記録を開始した1951年から2例しかないそうです。

そして、この夏の大きな災害に関係する「初めて」として、8月8日の夕方に九州の日向灘を震源とする震度6弱の大きな地震が発生し、気象庁から初めて「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されました。南海トラフ地震は、過去90～200年周期で発生しており、そのたびに多くの犠牲者を出しています。南海トラフ地震臨時情報により、一時的にスーパーマーケットで売っている飲料水や非常食が品薄になる状態も見られましたが、発表から一週間経った8月15日には、政府の特別な注意の呼びかけは終了しました。ただし、日頃からの地震の備えについては引き続き実施するように言われています。

本校においては、9月5日にシェイクアウト訓練を実施し、地震発生時の初期動作の確認を行います。本校周辺地域に津波の心配はほぼ無いと思われますが、地震発生時間帯によっては、新大宮バイパスや首都高速道路の通行止め、武蔵野線の運行停止により、保護者の方が一時的に帰宅できなくなる可能性もあります。被災地では、一時的に携帯電話等が使えなくなったり、電気の復旧が遅れ、充電できなくなったりする例もあるようです。様々な状況を想定し、子どもや家族の動き、連絡先などを話し合っておいてください。



近年、災害関連の発表や報道で「記録的」「想定外」「過去に例のない」等の表現が、当たり前のように聞かれるようになりました。これは、災害の予測が難しい時代になったことを示しています。「想定外」を想定した「物」と「心」の備えが必要になっています。

台風10号の影響が気になる中、2学期がスタートしました。夏休みの生活リズムから学校の生活リズムへの切り替えで、子どもたちは体調を崩しやすくなります。また、生活リズムの変化は、体と心の相互に影響し、不安定になりやすい時期となります。学校では子どもたちが発する小さなサインを見逃さないよう注意し、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと情報共有しながら子どもたちの心のケアに努めます。御家庭や地域の皆様におかれましても、子どもたちの表情や言動、ちょっとした様子の変化に御注意いただき、心配なことがありましたら、すぐに学校や各種相談機関に御相談ください。

2学期は運動会をはじめ、校内音楽会や遠足、社会科見学など、大きな行事が予定されています。普段の学習とは異なる学校行事への取組は、子どもたちの自主性や協調性、集団性を育む絶好のチャンスとなります。秋のさわやかな風が感じられるようになるまでは、熱中症に注意を払いながら、「夢がわき 心もはずむ 西小の子」の育成に尽くしてまいりますので、2学期も引き続き、本校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。